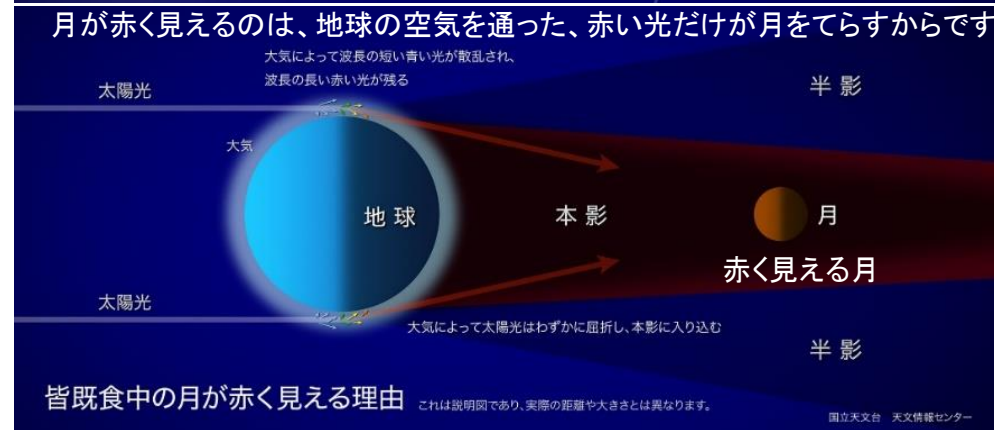
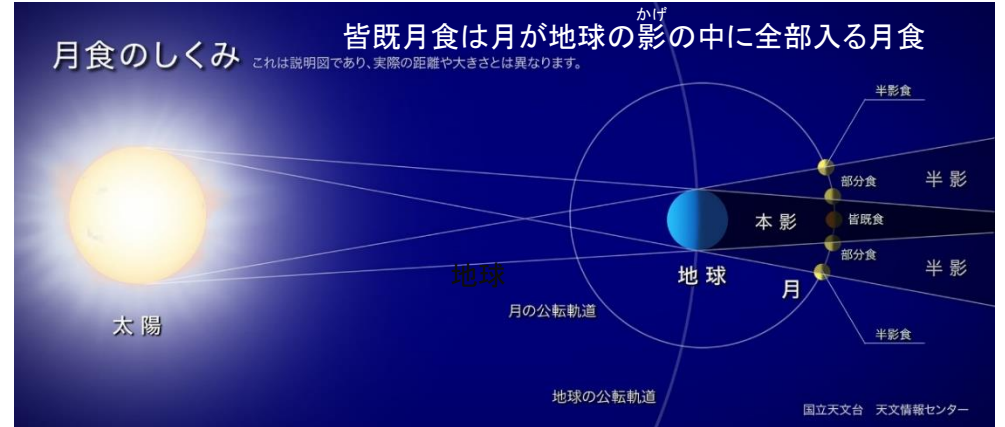


かんさつ だいじょうぶ そうがんきょう ぼうえんきょう
観察は目だけで大丈夫です。双眼鏡(3~10倍)や望遠鏡があると、さらによく見えるので、持っている人は見てみましょう



部分月食中の月の欠けぎわのカーブは地球の影のカーブです。地球が丸いことがわかります。地球の影の大きさを想像してみてください

昨年11月の部分月食



皆既月食中の月の暗さのレベル(ダンジョンの尺度)

0 : 黒

1 : 灰色または、こげ茶色

2 : 暗い赤色

3 : 明るい赤色

4 : オレンジ

空気中に火山灰などが飛んでいると、光が月へとときにくくなります。

今回の色に注目しましょう！

(右のような用紙を作り、色鉛筆でスケッチしてみましょう。)

下のようなスケッチ用紙を用意しよう(紙に、いくつか円を書くだけ) 皆既中、皆既の前後など何回かスケッチしてみよう

皆既月食スケッチ用紙
2022年11月8日

○ 時 分

○ 時 分

○ 時 分

色エンピツで月の色をぬる。観察方法や空のようす、気が付いたことなどを書く。

月食の最中に、月が惑星の天王星を隠す「天王星食」が起こります。双眼鏡があれば天王星を確認できるでしょう。

東京 緯度:35.6581° 経度:139.7414° 標高:0.0 m

天王星 天の北極

皆既中

天王星 天の北極

潜入開始 20時41分 出現開始 21時22分

次の月食 2023年10月29日
月の直径の12.8%が欠ける部分月食(部分食のはじまり 4時34分)

その次の月食 2025年9月8日 皆既月食
(部分食のはじまり 1時26分)

次の、夕方の見やすい時間帯の皆既月食は
2026年3月3日
(部分食のはじまり 18時49分)